

令和5年度補正予算(第6号)
一般会計6000万円追加

主な歳入(増減)

地方交付税 1億 267万円
繰入金 ▲1億2314万円

主な歳出(増減)

総務費 1億2264万円
民生費 ▲3123万円
衛生費 ▲1729万円
農林水産業費 ▲486万円
商工費 ▲373万円
土木費 ▲706万円
教育費 ▲717万円

特別会計(増減)

○介護保険 ▲400万円
○後期高齢者医療 ▲200万円
○国民健康保険(事業勘定) 100万円
○国民健康保険(直診勘定) ▲500万円
○公共下水道 ▲1000万円



予算特別委員会

問 今野 三喜男 議員
緊急防災減災事業債の減額と、一般補助施設整備等事業債の増額内容は。

答 総務課長

倉庫本体工事は一般補助施設整備等事業債で起債し、機材や基地局整備は緊急防災減債事業債で起債した。



問 渡部 英幸 議員
令和5年度の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの患者数は。

答 診療所事務長

コロナ感染症の陽性者数は73名で、インフルエンザの陽性者数は19名となっている。



歳入

問 森林環境譲与税の前年比1000万円の増額の内容は。

答 令和6年度から算定基準が見直され、今後3ケ年は約2700万円の収入が見込まれる。

問 自動車税の環境性能割交付金80万円の増額要因は。

答 近年、環境性能対応車が増えているのが要因。

問 町債の過疎対策事業2000万の内容は。

答 学校給食や保育所の無償化などの費用となっている。

問 大災害が発生した場合、交付金などに変化が出ているが予算どおりの収入が見込めるのか。
答 基本的に地方交付税に変わりはなく、特別地方交付税に多少の変化がみられる場合がある。

歳出

総務費

問 お試し住宅解体工事の内容は。
答 老朽化のため湯原地区1棟を解体する。

◆総括質疑

問 児童、生徒を対象とした「ケアハウス」の場所と教育課程終了認定の判断は。

答 当面、現在の放課後児童クラブの場所とし、学校の進級や卒業資格も考慮する。

※1 詳細は町の家計簿(別冊)の14ページをご覧ください。

問 地域おこし協力隊の増員計画は。
答 町づくり振興や農林業振興、教育スポーツ振興に数名新規募集している。

問 ※2 第6期日本型直接支払制度への町の対応は。
答 各集落の意見を聞きながら、町もその中に入ってしっかりと協議していきたい。

※2 農業の多面的な機能の維持・発揮のため、地域活動や農業活動を支援する国の制度。

◆予算委員会質疑

問 町長公約の実施については町民の声や議会の声をしっかり聴きながら判断すべきではないか。

答 雇用の確保や住宅の確保など、生活環境を整える予算を議会に可決頂き執行している。

問 行政職員のスキルアップ研修や、経費削減の観点から土木建築などの専門職も必要では。

答 職員には視察研修や講習を含めしっかりと対応したい。専門職の採用は必ずしも町全体の経費削減とはならない。



▲中山間地域整備事業(湯原地区)

民生費

問 関保育所の園庭工事の内容は。

答 現在の保育所解体と外構フェンス、新品遊具設置などとグラウンド整地となっている。

衛生費

問 各種予防接種があるが带状疱疹への助成は。また、65才以上のコロナワクチン定期接種への対応は。

答 带状疱疹は今後の対応を検討したい。ワクチン接種は有料となるので、助成制度なども含めて検討したい。

農林水産業費

問 次世代人材育成交付金や就業準備資金、経営開始資金や農林業生産者育成事業費の内容は。

答 次世代人材育成交付金は2名で経営開始型資金は1名、政策育成補助金は個人が2名、認定農業者が2名となっている。

商工費

問 滑津地区旧街道の木橋解体後の対応は。

答 解体後は河川に降りられないような標示をしたいと考えてる。

土木費

問 町道瀬見原幹線の舗装工事の内容は。

答 乙女ゆり群生地付近から萩崎方面に向け488mを予定。

問 町道烏川線「足沢橋」の補修工事の内容は。

答 令和3年度の橋梁安全点検で危険と判定されたため、今年12月までの工期で行う。

教育費

問 学校施設新築基本計画策定業務の具体的な事務執行は。

答 基本構想、基本計画となるので、執行は第1・四半期と考えている。

介護サービス特別会計

問 高齢者福祉センターの衛生設備改修工事の内容は。

答 施設内の水回りを自動水栓にする。

簡易水道事業会計

問 事業会計で収支の均衡を保つため、利用料金の見直しが必要となるのでは。

答 令和8年の経営計画見直し時点では必要となるが、現行料金の1割か2割のアップで抑えたい。